

その他

文献

西山久美江, 黒田裕子, 山田紋子, ほか. 心臓外科術後患者の人工呼吸器からのウィーニングにおけるリラクゼーション技法による身体的・心理的安寧の効果 手足のマッサージ介入を用いて. 日本救急看護学会雑誌. 2010; 12(2): 1-10. 医中誌 web ID 2011057560

1. 目的

心臓外科術後患者の人工呼吸器からのウィーニング中における手足のマッサージが身体的・心理的安寧に及ぼす効果の評価

2. 研究デザイン

準ランダム化比較試験 (quasi-RCT)

3. セッティング

首都圏近郊の特定機能病院 2 施設と総合病院 1 施設

4. 参加者

冠動脈バイパス手術、弁置換術の手術を受け、人工呼吸器を装着した 18 歳以上の患者 20 人

5. 介入

Arm 1: マッサージ施術群(手足のマッサージ 1 日 10 分間+通常のケア)10 人

Arm 2: コントロール群(通常のケア群) 10 人

6. 主なアウトカム評価項目

POMS、STAI、J-SACL、血圧

7. 主な結果

介入後で血圧に有意差がみられたが、POMS、STAI、J-SACL では有意差はなかった。

1) POMS: 緊張-不安、抑うつ-落ち込み、怒り-敵意、活気、疲労、混乱が上昇した。

2) STAI: 状態不安は低下した。

3) J-SACL: ストレス因子は低下し、覚醒因子は上昇した。

4) 血圧: 拡張期血圧は有意に低下した($p < 0.05$)。

8. 結論

手足のマッサージは心臓外科手術後患者のウィーニング中の患者の心身の安寧につながることを示唆された。

9. 論文中の安全性評価

所属施設および各研究協力施設の倫理審査に申請し、承認を得て実施。

10. Abstractor のコメント

心臓外科術後患者を対象として、人工呼吸器装着中に手足のマッサージを行うことが身体的・心理的安寧に及ぼす効果を検討した研究である。対象がきわめて貴重な研究であり、看護ケアの質の向上を図る観点から非常に興味深い。心理的なアウトカムに有意差はみられないが、不安や恐怖感に対して軽減効果があることを示唆している。対象者が各 10 人であることから、今後、大規模な研究が実施されることが期待する。

11. Abstractor and date

近藤 宏 2015.3.19